

第 2 章

結婚・家族形成に関する意識調査

I. インターネットによるアンケート調査について

1. 調査概要

(1) 調査目的

20～30 代の男女を対象に、結婚・家族形成についての意識概要を定量的に把握する。

(2) 調査方法

インターネット調査会社の登録モニターに対する、インターネットによるアンケート調査

(3) 調査対象

20～30 代の未婚男女と、20～30 代の結婚 3 年以内の男女（比較対象） 計 10,000 人

(4) 調査期間

2010 年 9 月 27 日（月）～10 月 18 日（月）

(5) 主な調査項目

- ・ 恋愛・交際について
- ・ 結婚について
- ・ 子ども・子育てについて
- ・ 地方自治体等の支援について 等

(6) 調査実施機関

株式会社マクロミル

(7) ウェイトバック集計について

- ・ 本インターネット調査では、性別、年代、婚姻・交際状況、既婚者の子どもの有無、居住地の人口規模別についても、十分な分析を可能とするため、性別、年代、婚姻・交際状況、既婚者の子どもの有無、居住地の人口規模別に標本の有効回収数が 100 以上になるよう設定した。そこで全体の集計に当たっては、実際の人口構成比を反映するために、性別、年代、婚姻・交際状況、既婚者の子どもの有無、居住地の人口規模でウェイトをつけて集計した。報告書中のインターネット調査結果はウェイトバック後の数値である。
- ・ ウェイト値の算出に当たっては、次の手順で基準となる母集団の推定を行った。
 - ①総務省「国勢調査」（平成 17 年）を元に、性別・年代・未既婚別の人口を算出し、

既婚者について子どもの有無別人口を算出

②スクリーニング調査の結果を元に、結婚４年以上の既婚者を除外し、都市・地方別、又、未婚者について恋人の有無別人口を算出

- ・ それぞれの母集団の推定値、回収数、及びウェイト値は本報告書巻末の【資料】を参照されたい。

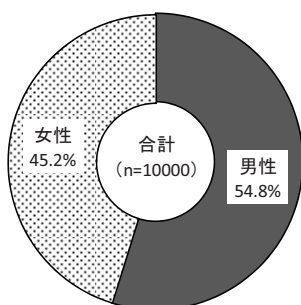
(8) 本インターネット調査結果を読む際の留意点

- ・ 報告書では、ウェイトバック後の数値を用いている。
- ・ 結果数値（％）は表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の計が合計に一致しないこともある。
- ・ 本インターネット調査は、「未婚者」の結婚や家族形成についての意識や状況を分析・検討することを目的としているため、「既婚者」に関しては比較対象として位置づけ、調査時点から３年前には未婚であった人、つまり調査時点から３年以内に結婚した人に限定することとした。
- ・ 既婚者に関して、子どもがいる人を「既婚（子どもあり）」または「子どもあり」、子どもがいない人を「既婚（子どもなし）」または「子どもなし」と表している。また未婚者に関して、現在恋人のいる人を「未婚（恋人あり）」または「恋人あり」、現在恋人はいないが過去には恋愛交際経験がある人を「未婚（恋人なし）」または「恋人なし」、現在も過去にも恋愛交際経験がない人を「未婚（交際経験なし）」または「交際経験なし」と表している。
- ・ 人口 30 万人以上の都市部に住む人の居住地を「都市」、人口 30 万人以下の市町村に住む人の居住地を「地方」と表している。
- ・ 対象について、特に記載のない場合は今回の調査対象としたサンプル全体を指す。
- ・ 本調査の報告書における「合計」は、それぞれのグラフにおける合計を表している。既婚者における調査対象を結婚３年以内の人としたため、「合計」が 20 代 30 代全体の傾向とは異なっている。
- ・ 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次の通りである。

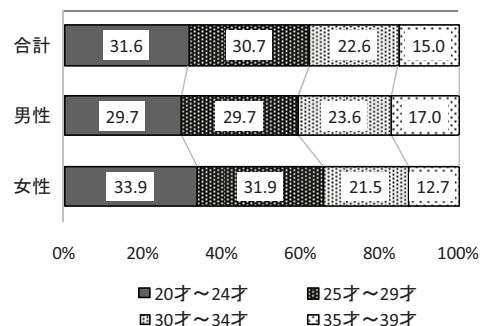
N	: 質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である（ただしウェイトバック後の数値である）
0.0	: 回答者がいないもの
—	: 当該区分に対して質問をしていないもの
<SA>	: 単数回答
<MA>	: 複数回答

(9) 調査対象の属性

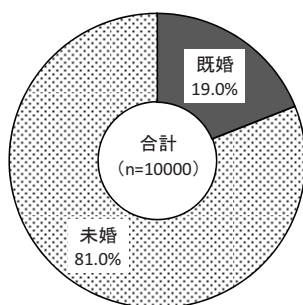
性別



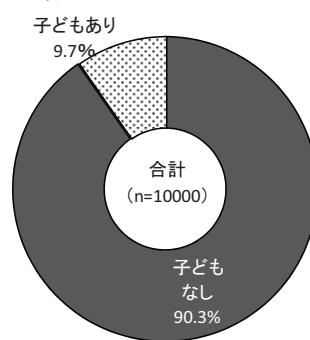
年齢



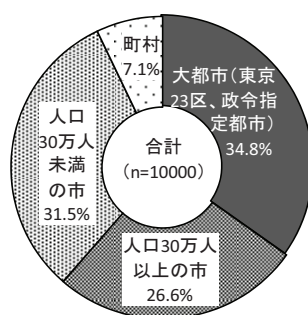
未婚



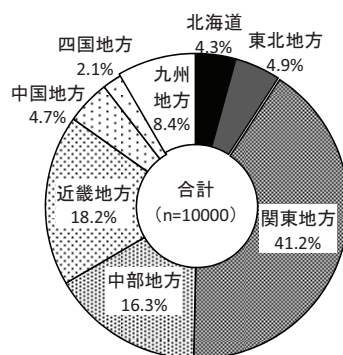
子どもの有無



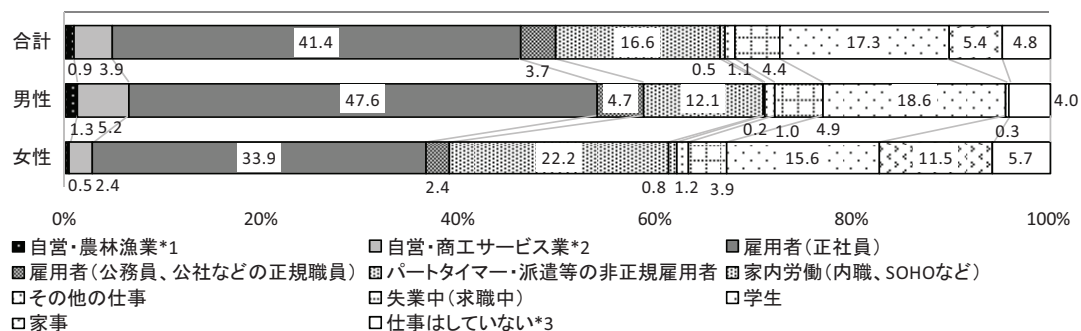
居住地の人口規模



居住地域



職業



*1 家族従業者を含む。*2 自由業、家族従業者を含む。*3 「失業者(求職中)」「学生」「家事」を除く。